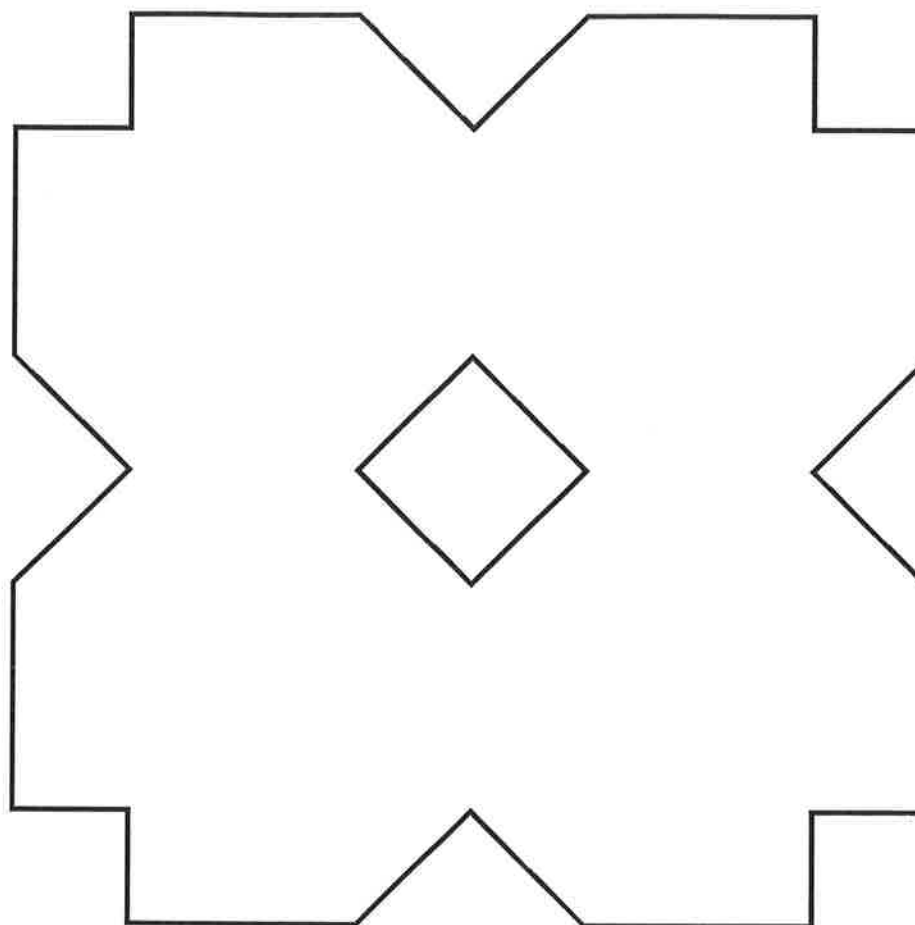


思考	受容	集中	転換	拡散	表現
		★		★	

受験	算数	国語	理科	社会
	平面の対称図形			

■おりがみを何回かおってから、3かしょハサミできてひらいてみると、下の形ができていました。
どのようにおってきったのでしょうか。

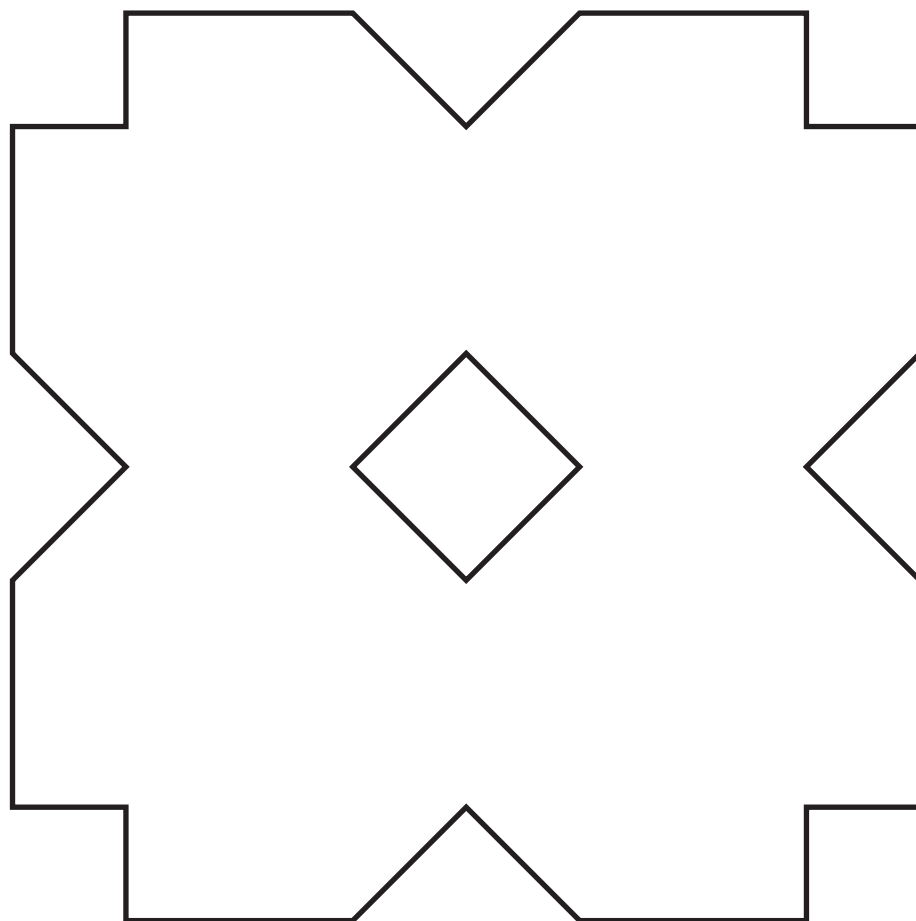


思 考	受 容	集 中	転 換	拡 散	表 現
		★		★	

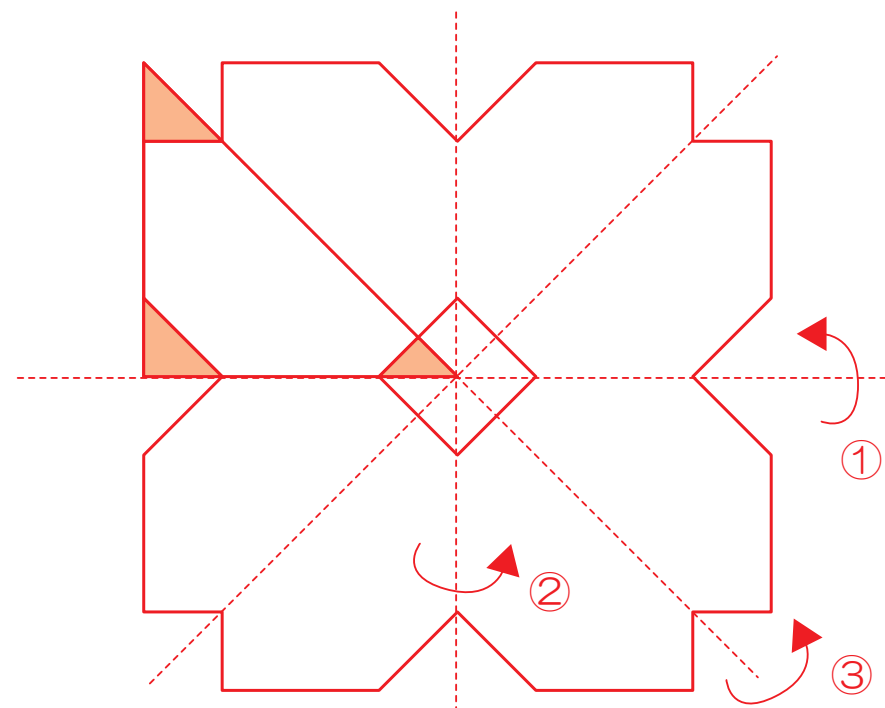
受 験	算 数	国 語	理 科	社 会
	平面の対称図形			

■おりがみを何回かおってから、3かしょハサミできてひらいてみると、下の形ができていました。

どのようにおってきったのでしょうか。



点線のところを折って、
1/8にした形の色をつ
いたところを切ります。



保護者様用解説

【中級】Lv.31-4 「切ってみよう」

折り紙を何回か折って、切りはなしたり、切れ目を入れると、きれいな模様ができます。折り紙を規則的に折ると、模様が連続性をもって現れるので、さらに、美しくなります。折り紙をどう折ったから、どことどこが重なったのか、それを折り紙を開かないでも考えることができれば、立体図形の理解にもつながっていきます。

この問題は、折り方に規定はありませんが、切る回数が指定されています。3回切るだけで、これだけの模様を入れるためには、折り方もその影響を受けて、決まってきます。そこをどう理解するか、がポイントになる問題です。先ほどもお話ししたように、模様に連続性を持たせるためには、規則正しく折る必要があります。特に、中心から同じように広がる形にするためには、折り方も中心から広がる折り方でなくてはなりません。この点に気づくことができれば、かなり、正解に近づけると思います。

ただ、それを言葉で説明して、この問題が解けたとしても、それが、お子さまの力となるのか、また別の、同じような問題に出会ったときに、今度は自分で考え、答えに近づけるのか、という点を、私たちはいつも考えています。アドバンスコースの冊子では、この問題の後、少し違ったよく似た問題が出てきます。果たして、自分で解けるのか、それを確認できる問題構成となっています。

今、この問題に正解することではなく、自分なりの解き方を自分で見つける力を育てること。私たちは、それを大切に考えています。

ぜひ、この機会に、折り紙を楽しんでください。いろいろな形を折ったり、何ができたかお話をしたり、折って切ってできた模様から、折り方、切り方を考えたり、折り図を読んでみたり。折り紙には驚くほど、たくさんの要素が詰まっているのです。